



# 中学部 数学科 一題材の実践と振り返り



題材名：『フルーツパーラーポプラ』で、注文数を見聞きして、ちょうどの数をそろえてフルーツを届けよう

授業者：柳井 貴恵

## 学習指導要領の段階と内容

### 小学部2段階 A数と計算

#### 題材目標

#### 知・技

『フルーツパーラーポプラ』で6～10個のフルーツブロックをそろえる時、数字が示す数量がわかり、左端から順にフルーツブロックを5個置き、6個目以降をその下の左端から順に置く仕方で数字カードと同数数え取る

#### 思・判・表

数詞を聞き、フルーツブロックを数えて不足があった時、数詞が示す数量を考え、足りない数量を判断し、足りない数を教師に伝える

#### 学び

数詞を聞いて、フルーツをそろえる課題に学習した仕方で繰り返し正しく取り組む

**知・技** : ア(ア)㉞具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関連付けてみること。  
㉞10の補数がわかること。  
**思・判・表** : ア(イ)㉞数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。  
**学び** : 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。

## 授業づくりの手順

前題材までの到達状況から知識及び技能を列挙する

列挙した知識及び技能を段階化する

段階化した知識及び技能から指導内容の範囲を決定する

各児童(生徒)の指導内容(知・技)の習得のために内容を細分化する

細分化・段階化した知識及び技能の一覧を実態表の項目として、児童(生徒)の実態を把握する

知識及び技能の指導の計画を立てる

思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる

教材の仕組みを決定する

学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる

題材開始

R研で毎時間の授業の評価・改善

題材終了

観点別評価の実施

考察

教材名：『フルーツパーラーポプラ』…注文カードを見聞きして、ちょうどの数量のフルーツをそろえる

#### 教材と仕組み



①好きなキャラクターからの注文カードを見て、フルーツブロックを数え取る



②フルーツブロックが足りない場合は教師に「○個ください」と伝える



③正しく数え取ったことがわかるように、好きなキャラクターがフルーツを食べて喜ぶ姿のスライドショーを提示する

#### 観点別評価

#### 知・技

注文カードの数字を見て、左端から順にフルーツブロックを5個置き、6個目以降をその下の左端から順に置く仕方で、6～10個のフルーツブロックを数え取ることができた

#### 思・判・表

数詞に応じてそろえるフルーツブロックに1～2個の不足があった時、いくつ不足しているかを指さして数え、「足りない。○個ください。」と足りない数を教師に伝えたり、不足分のブロックを選び取ったりしてちょうどの数をそろえることができた

#### 主体的な姿

自分から次の課題を取りに行き、フルーツブロックを数える姿が見られた。また、数え方が定着し、学習した数え方でフルーツブロックを数える姿や、ブロックが足りない時に探したり、自分から教師に伝えたりする姿も見られた

### ポイント

## 10までの数量のイメージをもつことができるように…

#### 【これまでの学習での数え方】

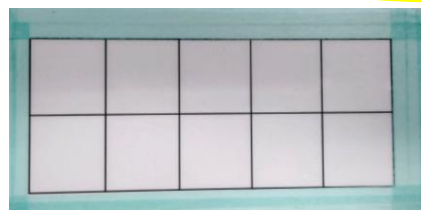


左から、横一列に10までの具体物、半具体物を数える数え方

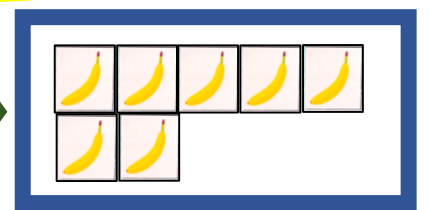


・6より大きい数を数え間違えてしまう…  
・ぱっと見て数の判断がしにくい…

#### 5ずつ数えることで、6以降の数え間違い、減!



『数える君(↑)』で、左から5個ずつ並べて数え、6個目以降をその下の左端から順に置く仕方で数えるようにした。



仕方を確かめると、枠なしでもホワイトボードにフルーツブロックを5個ずつ並べて数えるようになり、数え間違いも少なくなった。

### ポイント

## 不足している数量を判断して伝えるためには…



箱の中のフルーツブロックを並べ終わった後、教師に「7ください」と伝えた。



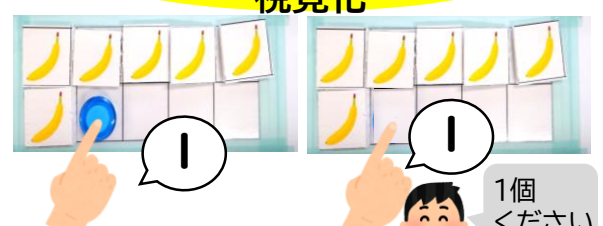
どうすれば、足りない分の数量がわかるのかな…

7個ほしいけど、足りない…



「足りない数量」に目が向くように、足りないフルーツブロックの数だけマグネットを貼り、その数を数えた。

#### 足りない数量の視覚化



足りない数に目が向くようになったため、徐々にマグネットを使わずに取り組んだ。すると、1～2個の不足分を判断して、教師に伝えることができたようになった。

#### 【改善①】

グループ内でPC1台でのご褒美の提示

生徒一人につき、PC1台でのご褒美の提示に

活動の流れがスムーズに



課題に続けて取り組む意欲的な姿

#### 【改善②】

活動の流れがスムーズになると、課題がすぐ終わるように…

改善①での意欲的な姿が見られたため、課題数を増やしたが、最後まで課題に続けて取り組む姿が見られた



#### 【今後の方向性】

1種類の半具体物で取り組んだ。日常生活でも、同じように数えたり、不足を伝えたりすることができるように、今後は様々な形状や大きさのものを取り扱い、本実践と同様の仕方で身の回りのものを数えることができるように指導する。